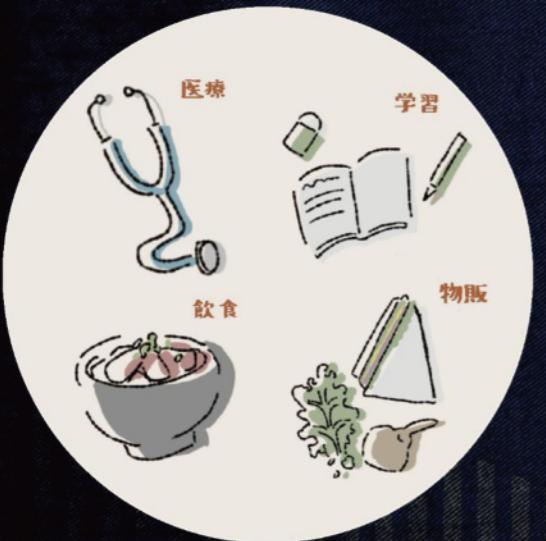


このレシピブックを手に取っていただきありがとうございます。
これはグローバルビレッジでの生活を彩るレシピと、グローバルビレッジの
「おもろい」をもっと深く味わっていただくためのレシピブックです。



「オモロイ遊びが学びに」
あそ
おもろい学び場 グローバルビレッジ
津雲台は、1970年の大阪万博にあわせて竹やぶを切り開いて開発した「千里ニュータウン」
の中心に位置しています。多くの団地を有するこの地域の新たな交流の玄関口となるのが、
グローバルビレッジ（Global Village, GV）です。

企業が暮らしをあらゆる面からサポート



多様な人々・たくさんの交流



=「**あそ**
おもろい学び場」

グローバルビレッジに散らばる

「**あそ**
おもろい学び場」で

新しい生活をさらに **おもしろいもの** にしませんか？

グローバルビレッジで出会った人・これから出会う人といろいろな機会を通してたくさん
学んで欲しいという思いから、おもろい学び場になりそうな施設とその使い方のレシピを考案
しました。あなたの生活を少し特別なものにするレシピになれば幸いです。ここからたくさん
のアレンジレシピが生まれますように…

グローバルビレッジの つながり



「タテのつながり」

子ども、学生、現役世代、シニアの多世代を抱えるまちであり、同じ世代
だけでは生み出せない、深みのあるおもろさを。



「ヨコのつながり」

さまざまな国からの留学生が集うことで、多文化にふれ、
また自文化を教えることで、生活にずっと続く彩りを。



「みらいとのつながり」

大阪大学における、日本の最先端の研究を教わり、協力することができる。
また、研究者の卵である学生と接することができる。また、シニア世代
から過去を学び、未来を創造することもできる。「わからない」に挑戦
する前衛的な生活を。



「ふるきよきつながり」

まわりにひらかれた造りになっているため、津雲台のまちに
根付いた交流に参加でき、また、周辺の人も積極的にGVに訪れる
ことができる。この地域の社会課題と新しい千里ニュータウンの
中心エリアとなるこの GV の可能性を。温かみのある交流で、
落ち着いたひと時を。



足を運ばなければ出会えない その土地の食材や郷土料理という
ものがあります。GVもそのようなユニークな何かを生み出す
ことでしょう。多様な人の出会い、交流が人を育てます。
そして、まちが育ちます。あらゆる(オムニ)場(サイト)が
楽しい学びの場となりましょう。熟成期間も必要でしょうか。
この先が楽しみです。

大阪大学大学院 人間科学科 教授 稲場先生からのメッセージ